

[膠原病・リウマチ内科]

[研修の目的]

プライマリーケアで遭遇する関節炎、不明熱の鑑別がある程度できるようになること。膠原病の検査・診断ができるようになること。

[研修指導者]

1) 高取 宏昌（膠原病・リウマチ内科部長）

日本リウマチ学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本内科学会指導医、厚労省臨床研修指導医

[研修コース]

1ヶ月コース

[研修指導体制]

指導医、専攻医によるチームでの指導体制

[研修内容および到達目標]

<研修内容>

- 1) 外来診療に付いて病歴聴取や診察を豊富に体験する。
- 2) 自己抗体、その他検査結果の見方、評価を講義や症例を通して学ぶ。
- 3) 画像検査のオーダーと読影の仕方を症例を通して学ぶ。
- 4) 入院診療では膠原病、リウマチ性疾患や不明熱の鑑別診断を行う。

<到達目標>

- 1) 膠原病、リウマチ性疾患の鑑別診断ができる。
- 2) 不明熱の鑑別診断ができる。
- 3) 副腎皮質ステロイド剤、免疫抑制剤、生物学的製剤、JAK 阻害薬の投与方法と副作用を理解する。